

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立富士湧水の里水族館

所管課 農政部 食糧花き水産課

指定管理者 株式会社桔梗屋

1 指定管理者の推移

導入年度	平成21年度					委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
株式会社 桔梗屋		H21.4.1	～	H26.3.31	5年	151,483,000
株式会社 桔梗屋		H26.4.1	～	H31.3.31	5年	155,796,000
株式会社 桔梗屋		H31.4.1	～	R5.3.31	4年	152,095,116

2 施設の概要

所在地	南都留郡忍野村忍草3098-1
設置年月日	平成13年4月25日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立富士湧水の里水族館設置及び管理条例
設置目的	県民に魚とのふれあいの場を提供することにより、自然保護に対する理解を深め、併せて内水面漁業の振興に資する。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (3)水産動植物の飼養栽培及び展示に関する業務 (4)水産動植物に関する講習会及び催しの実施に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 4,000 m ² ○建築面積 1027.02m ² ○建物延面積 1,474.41m ² ○建物の構造 ・鉄筋コンクリート造(地下1階、地上2階建て、機械棟1棟) ○施設の内容 ・1階:展示フロア(二重回遊水槽等) 562.29m ² ・2階:学習フロア(シアターホール等) 736.62m ² 事務室、機械室、倉庫、東屋等 457.05m ²
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	73,569,253	77,584,805	80,509,139	87,553,161	105,707,211	
支出合計	72,747,017	75,751,204	79,298,830	87,157,427	105,547,494	
収支差額	822,236	1,833,601	1,210,309	395,734	159,717	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	138,582人	137,200人	111,036人	126,643人	180,912人	入場者、事業参加者の合計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和4年度)

令和4年度の入館者数は、180,912人で、目標値とした146,000人に対して34,912人上回る結果となった。この大幅な増加の要因としては、世間のコロナ禍からの回復や、それに伴う動物園水族館業界全体の好景気が考えられた。

令和4年度は西湖のクニマス産卵地に設置されている水中カメラの運用を水産技術センターから引継ぎ、来館者が自由に野生のクニマスやその他の生物をリアルタイムで見られる「クニマスライブカメラ」の展示を開始した。時期的にクニマスは殆ど見られなくなっていたが、その他の魚種が群れなしている映像は来館者から好評を得ている。

その他にも既存展示のリニューアルを複数個所で行うなど館内の展示を改良し続けた結果、アンケートの満足とやや満足合わせて97.4%の高い評価を得ることが出来た。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

施設管理・運營業務等については、業務計画書に基づき適正に実施されていた。

設備面において、経年劣化による機器の故障などによる修繕が今後も必要になると考えられるが、修繕については県と協議を行い、優先順位を決めて計画的に実施すること。

利用者満足度については、引き続き展示やイベントの内容を工夫していくことで高い満足度を維持すること。

引き続き、ホームページ、SNS等を活用した広報を行うとともに、人件費、光熱水費、消耗品費、工具器具備品等について、飼育する生物や来館者に影響のない範囲で節約し、経費の削減を図ること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

施設所管課からの指導通り新型コロナウイルスへの感染対策を引き続き行い、来館者が安心して利用出来る環境を提供している。

また、SNSの本格的運用を開始し、今までのメイン層ではなかった若年層へのアピールも積極的に行っており、フォロワー数が着実に増加している。今後は更なるアフターコロナ社会へと推移していくと考えられるので、引き続きホームページやSNSを利用して館の魅力を発信し、来館者増へ繋げていく。

依然として経年劣化による施設・設備の故障が施設各所で発生しているため、引き続き早期に発見して県と協議の上、来館者の利便性・満足度の向上に努めていく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立富士湧水の里水族館

所管課 農政部 食糧花き水産課

指定管理者 株式会社桔梗屋

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	入館者数	101,034	97,771	111,036	126,643	180,912
	事業参加者数	37,548	39,429	0	0	0
	利用者数合計	138,582	137,200	111,036	126,643	180,912
	目標値	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000
	実績/目標割合	94.9%	94.0%	76.1%	86.7%	123.9%
	目標値の設定方法	H26～:平成24年度実績の年度ごとに1.2%増(平成26年度からの指定管理者への応募時の目標値)ただし、前年の実績が目標値を下回った場合は、前年の目標値を継続。				
利用率	稼働率等(利用率)	439/日	432/日	404/日	442/日	571/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	入館者数/営業日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	
----------	--

3 補修工事等の状況(令和4年度)

(単位:円)

県 トイレ排気ファン交換	484,000
県 トイレLED交換	170,500
管 消火器入れ替え	108,690
管 男子トイレ小便器センサーメンテナンス	82,410
管 水上カメラリモコン修理他1件	113,941

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和4年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
4	随意契約	売り上げの30%	353,973	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収入	A 収入額計	73,569,253	77,584,805	80,509,139	87,553,161	105,707,211
	施設利用料	36,127,440	35,896,950	31,010,660	33,641,900	49,313,090
	指定管理委託料	32,517,000	32,305,000	32,447,000	32,641,000	38,978,000
	追加委託料(感染症)		2,460,452	5,041,875	8,221,789	
	自動販売機収入	282,810	321,612	258,901	316,902	353,973
	売店収入	4,066,259	5,808,345	6,991,043	9,187,732	15,075,671
	その他(イベント参加費等)	575,602	792,355	808,240	619,613	1,786,264
	預金利息	142	91	51	145	173
	助成金(雇用調整助成金等)			3,951,369	2,924,080	200,040
支出	B 支出額計	72,747,017	75,751,204	79,298,830	87,157,427	105,547,494
	人件費	27,166,609	29,243,724	26,306,846	26,530,603	32,706,561
	修繕費	1,165,432	535,514	1,958,671	313,390	305,041
	光熱水費	11,135,944	10,923,709	9,605,240	11,273,244	16,606,239
	消耗品費	6,256,427	7,505,873	13,327,992	13,985,490	17,177,150
	宣伝広告費	1,960,459	2,516,742	2,075,892	2,120,275	3,000,970
	本社管理・事務費	4,795,200	4,839,600	4,884,000	4,884,000	4,884,000
	賃借料	2,236,284	569,042	355,140	287,394	276,738
	商品仕入れ	2,299,085	3,775,424	4,442,161	8,169,247	8,411,122
	工具器具備品				1,034,000	2,970,000
	改修等予備費				2,000,000	2,000,000
	その他(通信費等)	1,389,609	1,445,111	1,195,162	1,848,100	1,989,424
	外部委託費	14,341,968	14,396,465	15,147,726	14,711,684	15,220,249
	清掃業務	5,978,448	5,459,656	5,913,555	6,275,940	6,355,060
	警備業務	710,856	714,428	766,920	958,650	1,176,780
植栽管理業務	3,702,852	3,731,427	3,771,432	3,771,432	3,771,432	
保守管理業務	2,736,968	2,658,460	2,945,092	2,193,258	2,035,780	
その他(建物検査等)	1,212,844	1,832,494	1,750,727	1,512,404	1,881,197	
外部委託比率	19.7%	19.0%	19.1%	16.9%	14.4%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	822,236	1,833,601	1,210,309	395,734	159,717	

一人当たり指定管理者委託料*	234.6	235.5	292.2	257.7	215.5
----------------	-------	-------	-------	-------	-------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
C 収入額計	10,510				88,000
D 支出額計	376,606	192,487			54,600
収支差額(C-D)	△ 366,096	△ 192,487			33,400

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	国立病院機構甲府病院 移動水族館	入院患者	国立病院機構 甲府病院
2			
3			
4			
5			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期:令和4年4月～令和5年3月 実施方法:入館者へのアンケート 回答数:232人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①開館日、開園時間	76.2%	21.6%	2.2%	
②入館料	71.6%	22.8%	3.9%	1.7%
③館内の清潔さ	75.0%	19.8%	3.0%	2.2%
④設備などの充実度	69.4%	23.7%	4.7%	2.2%
⑤展示魚の数や状態	74.6%	19.8%	4.7%	0.9%
⑥シアターの満足度	61.6%	29.7%	6.5%	2.2%
⑦スタッフの態度	75.8%	20.7%	2.6%	0.9%
⑧イベント満足度	67.2%	25.9%	5.6%	1.3%
施設全般の満足度	78.0%	19.4%	2.6%	
利用者の主な意見	<p>【設備などの充実度】 ・故障中の機器を直してほしい。</p> <p>【展示魚の数や状態】 ・展示生物が見つからない。</p> <p>【シアターの満足度】 ・映像を更新してほしい。</p>			
利用者の意見への対応	<p>【設備などの充実度】 ・定期的な点検や、異常が見られた所は随時、県の担当部署と協議をしつつ修繕を行っている。ただし、機器自体が老朽化しており、交換部品の調達に時間が掛かったり、調達コストの上昇が問題となっている。また、根本的に部品が製造終了してしまい、修理も出来ない機器が増えており順次更新をしていく必要がある。そのため今後の運用方法や修繕について検討していく必要がある。</p> <p>【展示魚の数や状態】 ・館内の巡回や飼育作業時の確認を強化し、状態の良い生物を展示できるように努める。 ・来館者にとって見やすい展示を心がけて展示作製を行っていく。</p> <p>【シアターの満足度】 ・現在新たな映像の作製を進めており、既存の映像と合わせてバリエーションを増やすように努めている。</p>			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>清掃業務、設備保守点検を計画どおりに実施した。</p> <p>災害対応、利用者の安全確保のため、マニュアルの見直しを行い、事故発生時の対応も再設定・再確認した。</p> <p>保安・警備業務は隣接する「森の学習館」(忍野村の施設)と問題なく共同実施した。</p> <p>経年劣化により来館者に直接影響が出る場所や、隣接施設との間に影響のある設備破損などが発生してきているが、速やかに修繕もしくは対処をして利用者の利便性維持に努めた。</p>	<p>法定点検業務について、事業計画に基づき適切に実施されている。</p> <p>防災マニュアルを定期的に見直しており、事故発生時の対応を再確認し、利用者の安全確保に努めている。今後も周辺施設と連携して訓練等を実施し、防災マニュアルの見直しの際に反映していくこと。</p> <p>施設建設から年数が経過しているため、経年劣化している箇所も多いが、適宜修繕を実施した。来館者が安全に過ごせるよう県と協議し、速やかに対処すること。</p>
運営業務	<p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により業務計画書の策定段階で学習体験の差し替え等を行ったが、適正に業務を執行した。</p> <p>また、実施事業は概ね好評であった。</p> <p>今後も、引き続き感染症対策を万全に行いつつ来館者の満足度の向上を目指して取り組んでいく。</p>	<p>業務計画に則り、適正に業務を執行した。</p> <p>参加者同士の間隔の確保、手指の消毒等、感染症対策を適切に実施し、参加者の満足度も高かった。</p> <p>引き続き利用者の安全に配慮しつつ、満足度向上を図る取組を行っていくこと。</p>
利用状況	<p>来館者数は目標の146,000人に対し123.9%の180,912人で令和3年度に比べて42.8%増加した。コロナ禍からの回復の兆しが見えたことで旅行需要が増加し、山梨県への観光客も増加したことや、昨今の動物園水族館のブームによる影響も相まって昨年度よりも増加したと考えられる。</p> <p>引き続き、来館者の年齢層や客層に合わせた展示や、既存水槽の内容リニューアルを増やすなどして施設の充実化を図り、来館者の更なる増加に繋げていく。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響による外出自粛等が少なくなり、来館者が増加した。</p> <p>引き続き、展示内容や企画事業を工夫するとともに、効果的なPR方法を検討すること。</p>
収支状況	<p>令和4年度の利用料金収入は、利用状況と同様の理由により大幅に増収となり、前年度比で約120.7%となった。</p> <p>昨年度に引き続き新展示の作製や展示リニューアルなどの設備投資を行い、昨年度よりも大きな展示を作製したため、消耗品費は前年度よりも増額となった。</p> <p>また、老朽化したレジの入れ替えに伴う工具器具備品や、開館当初以来、上映内容が変わっていないシアターホールの映像改修等のための改修等予備費の増額などが今年度も発生しており、今後の施設のクオリティー向上や作業の効率化を図る。</p>	<p>新展示の作製や展示のリニューアル等により消耗品費が増加した。</p> <p>施設のクオリティーの向上を図るとともに、業務委託、物品購入等常時経費の節減に努めつつ、人件費等の削減により、サービスの質が低下しないように注意すること。</p> <p>また、広告料については、その費用対効果を確認し、効果が低い場合は他の広報手法についての検討を行うこと。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

<p>自主事業</p>	<p>令和4年度は、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策により、合同イベントへの移動水族館の出展は行わなかった。しかし、個別の問い合わせにより、病院の重度心身障害者病棟でのイベントに移動水族館として参加した。 今後は徐々に通常通りの開催スケジュールに戻っていくと思われる為、感染症対策をしっかりと行いつつ、参加の可否を見極めていく。</p>	<p>今後は新型コロナウイルスの影響も少なくなり、新型コロナウイルス前の開催スケジュールに戻っていくことが想定される。 自主事業を行う際には、民間企業等の類似事業のモニタリングを行い、独自性のある企画に努めること。 アンケート結果を活用し、質の高いサービスの提供に努めること。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>総合アンケートの結果は、満足、どちらかといえば満足が97.4%であった。 コロナ禍も新たなステージに移行してきており、施設側としての対応も変わってくる所が出てきているため、いただいた意見についてはできるだけ速やかに業務運営に反映し、利用者により安心して満足してもらえるような施設運営に努めていく。</p>	<p>昨年度に引き続き、アンケートの満足度は、満足、どちらかといえば満足の回答を合わせて97.4%と高い数値を維持した。 引き続きアンケート結果を参考に、施設運営の改善に努めること。</p>

9 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>体験学習参加者の増加(工作教室等)</p>	<p>施設の利用促進を図るため、工作教室等の体験学習の参加者数を評価指標とし、目標値を1,499人に設定した。 体験教室の実施情報について、施設ホームページや広報誌等で広報し、年間参加者数は2,852人と実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>今後もホームページや広報誌等を利用して広報を行い、さらなる周知を図ること。</p>
<p>水産動植物に関する体験学習参加者の増加(給餌体験及び職員解説)</p>	<p>施設の利用促進および内水面漁業の周知・啓発を図るため、水産動植物に関する体験学習の参加者数を評価指標とし、目標値を656人に設定した。 体験教室の実施情報について、施設ホームページや広報誌等で広報したが、年間参加者数は640人と実績が目標を下回る結果となった。</p>	<p>実績が目標を下回る結果となった要因として、新型コロナウイルスの影響による施設利用者の減少が考えられることから、今後の評価指標の設定については、感染症の状況を踏まえて検討するとともに、ホームページ、SNSを活用した広報を行い、体験学習の実施について周知すること。</p>
<p>学校団体の施設利用数の増加</p>	<p>施設の利用促進及び教育機関との連携を図るため、学校団体の施設利用数を評価指標とし、目標値を42校に設定した。 施設ホームページで広報し年間参加者数は53校と実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>今後もホームページを利用して広報を行うとともに、学校向けのプログラムの内容についてアクセスしやすく整備することで、さらに周知を図ること。</p>

10 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在

